

新年のご挨拶

～統合運用態勢の更なる強化に向けて～

統合幕僚長 陸将 山崎 幸二

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本郷友連盟の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと存じ上げます。旧年中は防衛省・自衛隊に対し、格別のご厚誼を賜り、誠にありがとうございました。

【昨年の自衛隊の活動】

周辺国による軍事力の更なる強化や軍事活動の活発化の傾向は依然として顕著であり、現在の我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさと不確実性を増しています。加えて、国家間の戦略的競争が一層顕在化しているところです。このような中、自衛隊は、各種事態に迅速かつシームレスに対応するため、平素から我が国とその周辺海空域において情報収集及び警戒監視を実施しつつ、弾道ミサイルへの対処や戦闘機の緊急発進による対領空侵犯措置に万全を期してきました。

加えて、昨年4月に発生した北海道知床沖における観光船事故に係る捜索活動、9月の台風14号や15号への対応、新型コロナウイルス感染症対応、救急患者の緊急輸送等、各種災害に対応すべく、関係機関と緊密に連携・協力し、災害派遣活動を行ってきました。

国外においては、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処や中東地域における情報収集活動を引き続き実施し、船舶の安全な航行を確保してきました。また、南スーダンにおける国連南スーダン共和国ミッションやシナイ半島における多国籍部隊・監視団でも、派遣された隊員が引き続き任務を継続しています。

さらに、昨年5月から6月の間、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の要請を踏まえ、ウクライナ被災民救援国際平和協力業務として、ポーランド及びルーマニアまで人道救援物資の輸送を実施しました。

各種統合訓練では、昨年11月に実施した日米共同統合演習（キーン・ソード23）において、宇宙、サイバー及び電磁波に関する領域を含む自衛隊の統合運用及び日米の共同対処能力を強化しました。また、6月に実施した自衛隊統合防災演習（O4JXR）においては、南海トラフ地震発生時における災害対処能力の向上や米軍を含む関係機関等との情報共有や連携強化を図りました。

防衛協力・交流では、日米同盟の抑止力・対処力を強化し、切れ目のない安全保障環境を確保するため、平素からあらゆるレベルでの日米防衛協力を積極的に推進してきました。また、「自由で開かれたインド太平洋」ビジョンの下、オーストラリア、インド及び英国、フランス、ドイツ、NATOなどの欧州諸国・機関や、カナダ、ニュージーランド、ASEANといった国々との二国間・多国間での防衛協力・交流を、力強く推進してきました。

【戦略3文書の改定】

平成25年に我が国初の国家安全保障戦略が策定されてから約9年が経過し、この間、我が国周辺では、北朝鮮の核・ミサイル開発の進展、中国の広範かつ急速な軍事力増強と、東シナ海における力による一方的な現状変更の試みの継続、ロシアによる我が国周辺での軍事活動の活発化などが一層深刻化しています。

さらに、昨年2月のロシアによるウクライナ侵略を受け、国際社会は戦後最大の試練の時を迎えており、私たちは新たな危機の時代に直面していると言えます。

こうした厳しい安全保障環境を踏まえ、昨年12月に国家安全保障戦略等が改定され、我が国の防衛力を抜本的に強化するための方針が定められました。

自衛隊は、我が国を取り巻く厳しい安全保障環境の現実を直視し、将来にわたり国民を守り抜くために必要な防衛力の整備をしっかりと推進し、抑止力と対処力を向上させていく所存です。

【抜本的防衛力強化のための取組】

今年、昨年末に策定された国家安全保障戦略等に基づき、各種取組を具現化していく最初の年にあたります。我が国の防衛という使命を果たすべく、自衛隊が一丸となり、各種任務を完遂するとともに、次の3点を重視して取り組んでいきます。

1点目は、我が国の防衛力を抜本的に強化するための「統合運用態勢の強化」です。

従来に比し、格段に速いスピードで厳しさと不確実性を増して変化する安全保障環境の中で、抜本的に強化された防衛力は、我が国に対する脅威を抑止・排除する能力でなければなりません。そのため、平素から陸海空自衛隊を統合的に運用し、平時から有事までのあらゆる各種事態にシームレスに対応し得る態勢を構築するとともに、宇宙・サイバー・電磁波を含む領域横断作戦能力の一層の強化を図る必要があります。このため、常設の統合司令部の創設に向けた取り組みを推進します。また、各種統合訓練を通じて統合運用能力を向上させ、抑止力及び対処力を強化していきます。

2点目は、日米同盟強化のための「日米共同作戦能力及び相互運用性の更なる向上」です。自衛隊は、米軍とより実践的な共同訓練や演習を通じ、あらゆるレベルでの連携を更に強化し、日米共同作戦能力の向上を図ります。また、宇宙及びサイバー領域並びにミサイル防衛等に係る協力を推進します。更に、平素からの共同による情報収集や警戒監視活動及び情報分析等を通じて、日米の相互運用性を向上させ、緊密かつ隙のない態勢を維持し、不断に日米の意思と能力を示し、力による一方的な現状変更やその試みを抑止します。

3点目は、自由で開かれたインド太平洋ビジョンを実現するための「同志国等との連携強化」です。

中国の広範かつ急速な軍事力増強と、東シナ海における力による一方的な現状変更の試み、更にロシアによる国際秩序の根幹を揺るがすウクライナ侵略を受け、自衛隊は、ルールに基づく国際秩序の維持に寄与すべく、同盟国のみならず、普遍的価値や安全保障上の利益を共有する同志国との連携を強化し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に資する各種防衛協力・交流を推進していきます。その観点から、同志国等との共同訓練、人的交流、能力構築支援等を一層推進するとともに、国際平和協力活動等を通じて、グローバルな安全保障上の課題の改善に寄与していきます。

【結言】

新たな年を迎えるにあたり、国家、国民の皆様の負託に応えるため、「真に戦える自衛隊」を実現するとともに、使命の完遂に引き続き邁進することをお誓いいたします。

日本郷友連盟の皆様におかれましては、本年も引き続き自衛隊への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が日本郷友連盟にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますこと、そして、会員皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。